

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

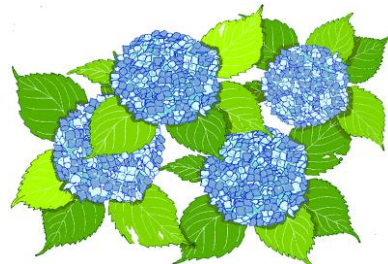
つよし

—第10号—

令和元年6月10日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

日本各地が梅雨に入っていますが、ここ平戸の梅雨入りはまだまだ先になりそうです。

6月は別名「水無月（みなづき）」です。雨の季節なのに「水の無い月」とは……不思議に思って調べたことがあります。この「無」とは、現代の「の」のことで「水の月」の意味だと分かりました。陰暦6月は田に水を引く月だから、水の月すなわち「水無月」と言われるようになったようです。日本語って、ちょっと難しいけど面白いですね。高温多湿の梅雨ですが、この時期に見る雨に濡れる青紫のあじさいは、しばし梅雨のジメジメ感を忘れさせてくれます。この季節もなかなかいいものです。



稲の種もみまき



5月27日（月）に、5年生が、稲の種もみまきをしました。24日に田植えをします。

フラワーロード



6日（木）に、全児童でフラワーロードの土捨てをしました。20日が花苗植えです。

家庭訪問スタート

今日から家庭訪問が始まりました。家庭訪問は、担任と保護者が、1対1で話すことができる貴重な時間です。学級担任が、家庭や地域の様子を知ること、子供たちが育っている環境を理解し、学校での指導に生かしていきたいと思えます。

平戸市少年の主張大会がありました

6月9日（日）に、平戸文化センターで、平戸市少年の主張大会が開催されました。市内の小中学校から各1名の代表が発表しました。津吉小学校からは、6年針尾さんが、「私の大切な町」という題で発表しました。ふるさと堤に対する思いと、ふるさと振興についてのアイデアや願いが、熱く語られました。

6月1日（土）には、「中津良川ホテル祭り」が開催され、大勢の人で賑わいました。津吉小の子供たちも初夏の夕暮れ、楽しい時間を満喫していました。祭りでは、中津良地区児童によるダンス・踊りの発表もありました。祭りを通じた地域のつながりや地域の方々の熱い思いは、今回の針尾さんの発表内容と重なり、子供たちにしっかりと引き継がれていることをうれしく思いました。

【針尾さんの発表原稿を裏面に掲載していますので、ご覧ください。】

私の大切な町

津吉小学校 6年 針尾萌香

私は、学校がある日の午後4時になると、うれしくなります。なぜかという私の住んでいる町、堤に帰れるからです。私は、以前は堤小学校に通っていましたが、堤小が閉校になって、2年前から津吉小学校に通うようになりました。全校児童が19人だった堤小学校のころとちがって、津吉小学校はたくさんの児童がいます。津吉小学校に通い始めて友達がたくさんでき毎日楽しいです。だけど堤に帰ると津吉小学校にいるときとはちがう気持ちになります。堤にいるととても気持ちが落ち着くのです。

堤に住んでいる人たちはとてもやさしく、町全体の人が顔見知りです。毎日あいさつを交わします。自然が豊かで静かな町、気持ちが落ち着くそんな堤が私はとても好きです。しかし、毎年堤の人口が減ってきています。考えてみると、堤に住むお兄さんやお姉さんたちは、高校を卒業すると他の町に行ってしまうので、そのまま他の町で就職し結婚をしてしまうので、堤の人口は減る一方です。どうして堤や平戸の人達は平戸へ戻ってこなくなるのでしょうか。その原因は、平戸はバスの便が少なくお年寄りにとって交通や買い物が不便、若い人にとっては働く場所が少ないなど、生活が不便だからなのだと思います。この問題を考えなければ、私の大切な町がなくなってしまいます。

では、平戸には働く場所が本当になのでしょうか。この前、津吉茶市で堤にある善果園で作られている平戸夏香というみかんの販売体験をさせていただきました。夏香は農薬をあまり使わず栽培し、ジュースには防腐剤も使っていません。おいしい夏香を作るために、たくさんの工夫がされています。茶市では夏香の良さを一生懸命に宣伝しました。そして完売できたときはとてもうれしい気持ちになるとともに、夏香という商品を誇らしく思いました。夏香や夏香ジュースは、平戸だけでなく、長崎や福岡でも広く売られています。善果園の他にも、松永水産や福田酒造、楠製菓、こたの里、コトユスイーツ、トイロで職業体験をした友達から、平戸には、すてきな商品を作り、県外にも幅広く販売しているお店があることを教えてもらいました。平戸には働くところがないと思っていましたが、様々な工夫をしたり努力をしたりして働いている人たちがたくさんいるということが分かりました。私たちもお客さんを喜ばせたいという思いをもって商品を作れば、平戸でも働く場所や仕事はたくさんあるのではないかと思います。

次に、買い物や交通の不便について解決方法を考えないといけません。そこで、最近開発が進んでいる自動運転の車に目を付けました。平戸市で自動運転の仕組みを作って、病院や買い物に行くときにお年寄りや子供でも、好きな時に好きな場所に向かうことができるようにするのはどうでしょうか。平戸市が日本で一番自動運転が進んでいる町になれば、全国に紹介されて、平戸市に興味をもった人たちや自動運転の技術者や会社などが平戸市に来てくれると思います。

さて、買い物の不便についてはどうでしょうか。最近はAmazonや楽天などインターネットで家にいながら買い物ができて便利です。そこで、平戸市にあるお店が協力し合ってショッピングサイトを作り、平戸のみんなが家にいながら、平戸のお店で買い物をできるようにできればいいなと思いました。注文した商品が自動運転の車で家まですぐに運ばれてくるととても便利だと思いませんか。

私の大切な町、堤のように、平戸もみんなにとっての、「また帰ってきたい町」にしていきたいです。平戸にはいろいろな問題がありますが、あきらめずにみんなでアイデアを出し合って協力し、心が落ち着くふるさとをいつまでも残していきたいです。